

## ◆ 今週のコメント

- ・ 腸チフスの報告が1例(男性, 10歳未満)あり, 本年度初めての報告です。症状は高熱・下痢です。推定感染地域は国外(バングラデシュ)で, 推定感染経路は不明です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が3例(男性(70歳代), 女性(40歳代, 70歳代))あり, 本年度の累積報告数は43例となっています。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており, ワクチンによる予防が重要となります。予防接種法改正により, 平成25年4月から小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種化, 平成26年10月からは高齢者(成人用)肺炎球菌ワクチンが定期接種化されました。詳細は, 下記ホームページを御参照ください。  
○京都市情報館ホームページ  
「京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種/協力医療機関検索はこちら)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>  
「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ 梅毒の報告が1例(男性, 40歳代)あり, 本年度の累積報告数は34例となっています。

## ◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

- ・ 京都市におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.61(107例)で, 第40週以降増加が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 1例(肺結核 1例)うち喀痰塗抹陽性なし  
【1月以降の累積報告数 327例(肺結核 161例, その他結核 74例, 潜在性結核感染者 92例)うち喀痰塗抹陽性 77例】
- ・ 三類:腸チフス 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 43例】
- ・ 五類:梅毒1例(早期顕症梅毒Ⅱ期1例)【1月以降の累積報告数 34例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.10	7
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.00	328
	② RSウイルス感染症	2.61	107
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.66	68
	④ 水痘	0.78	32
	⑤ 伝染性紅斑	0.71	29
眼科	流行性角結膜炎	0.90	9

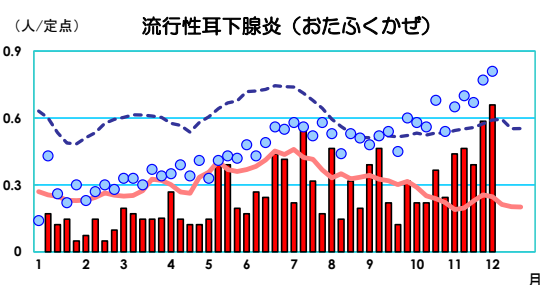
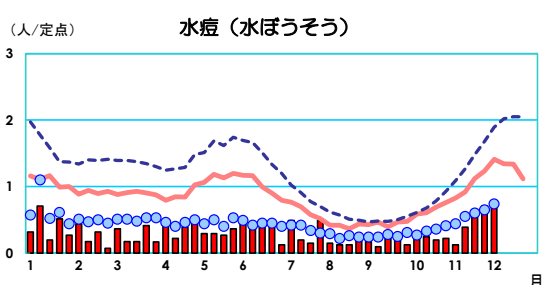
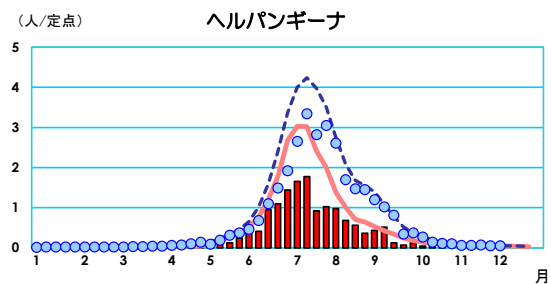
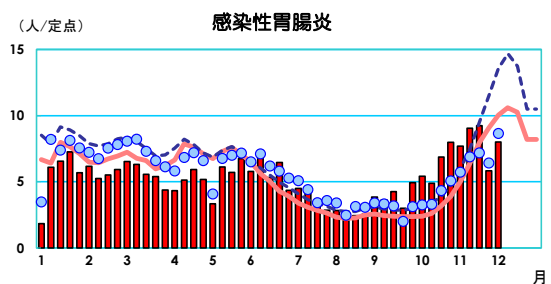
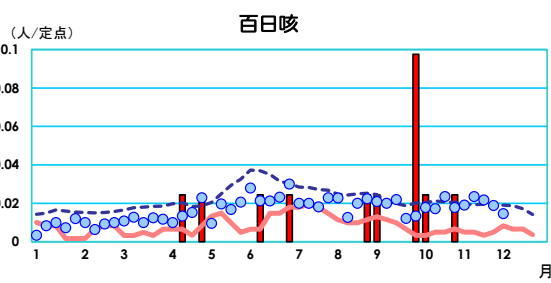
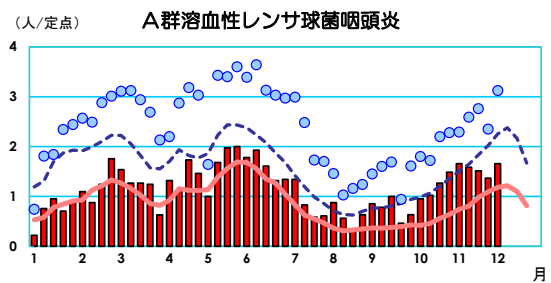
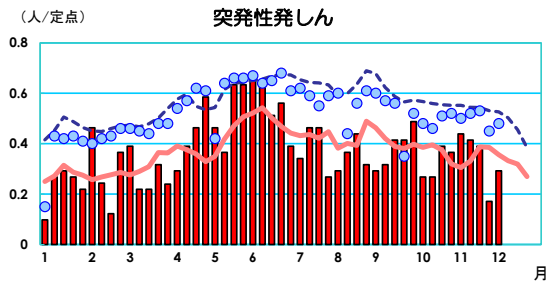
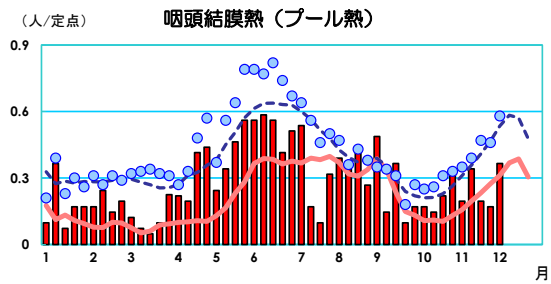
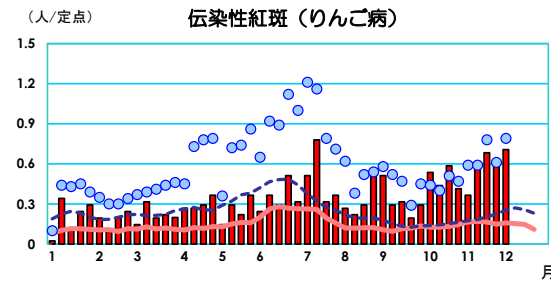
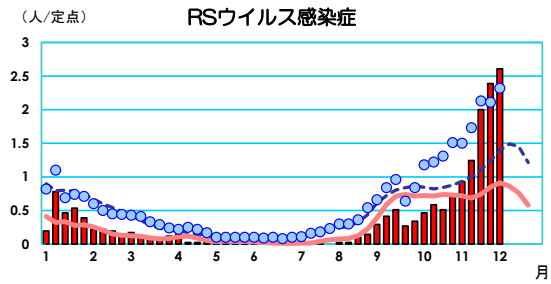
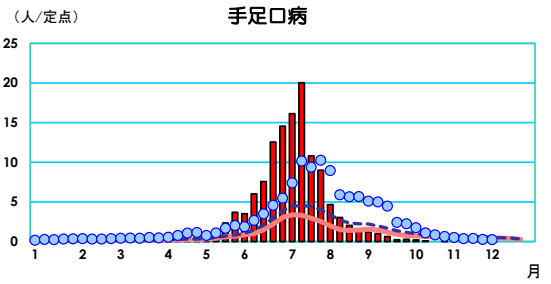
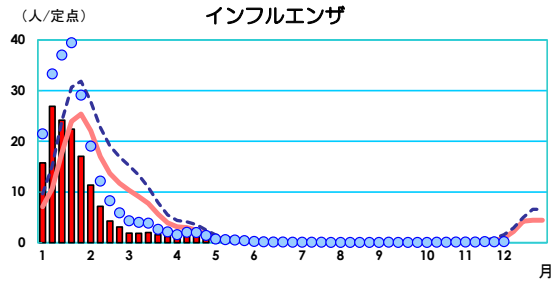
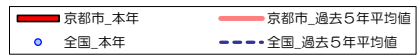
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成27年12月10日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルザ<sup>®</sup> 及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



## 第49週(11月30日～12月6日)トピックス: <RSウイルス感染症>

### 京都市及び全国の発生動向

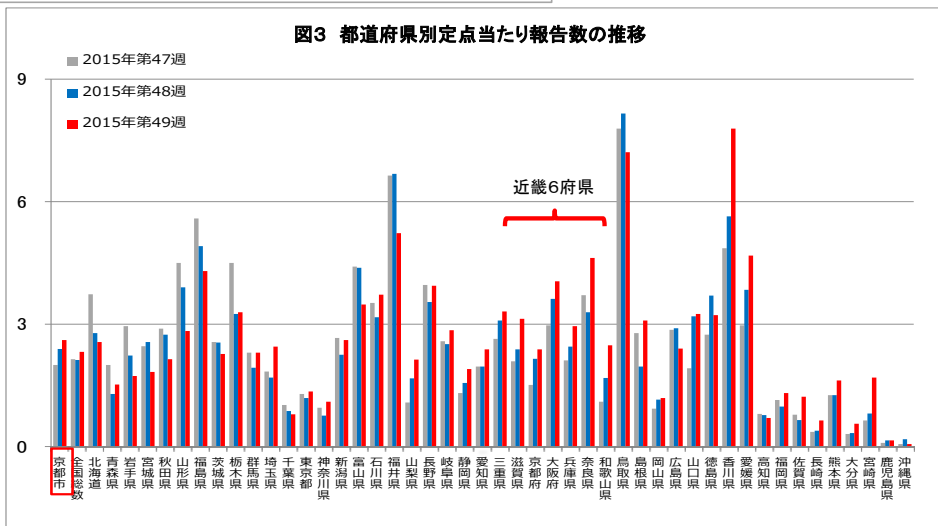
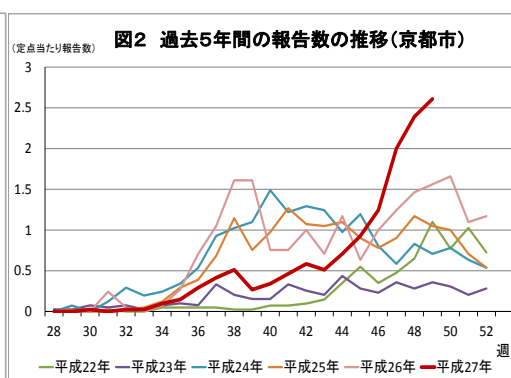
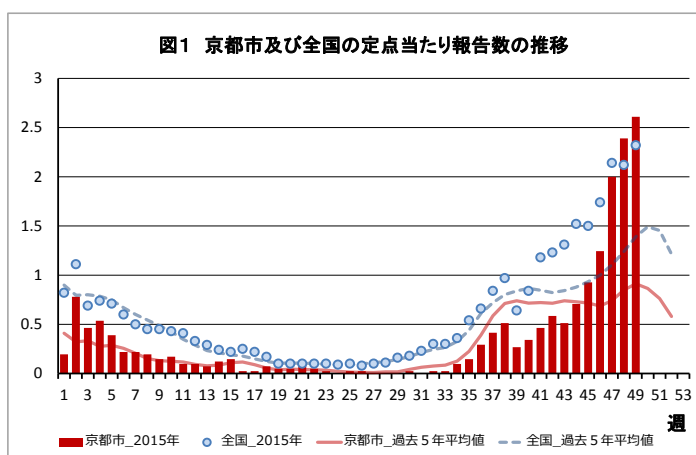
京都市におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.61(107例)で、第40週以降増加が続いています(図1)。過去5年間の同時期と比較すると、第46週から第49週にかけて最も多い報告数となっています(図2)。さらに、調査が開始された平成15年以降と比較しても、定点当たり報告数2.61は最も多い報告数となっています。全国的にも報告数の増加傾向が続いており、近畿でも6府県すべてで前週から報告数が増えています(図3)、今後の発生動向によりいっそうの注意が必要です。

### 症状

RSウイルス感染症は、RSウイルスを病原体とし、乳幼児に多い呼吸器感染症です。通常4～6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症ですが、乳児で初めて感染した場合には重症化しやすく、ひどい咳、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れ、場合によっては細気管支炎、肺炎へと進んでいきます。

### 感染経路及び予防

感染経路は飛沫感染と接触感染で、発症の中心は0歳児と1歳児です。咳等の呼吸器症状がある年長児や成人は可能な限り0～1歳児との接触を避けることで、乳幼児の感染予防に繋がります。乳幼児に日常的に接する人は、咳などの呼吸器症状があれば、飛沫感染対策としてマスクの着用などの咳エチケットを心掛けましょう。接触感染対策としては、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどのこまめな消毒を行います。流水、石鹸で手洗いを行い、アルコール消毒剤の使用により手指衛生を励行しましょう。また、体の抵抗力を高めるために、十分な睡眠とバランスのとれた栄養を取ることが大切です。



## 感染予防方法について

- ★ **流水と石けんでしっかりと手を洗いましょう!**
- ★ **栄養と睡眠を十分にとみましょう**
- ★ **咳やくしゃみなどの症状が有るときはマスクなどによる**咳エチケット**を徹底し、人にうつさないようにしましょう。**
- ★ **子どもが日常的に触れるおもちゃなどは**アルコール**や**塩素系消毒剤**で消毒しましょう。**

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第49週

疾病,行政区別報告数

平成27年11月30日～平成27年12月6日

データ入手日:平成27年12月10日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	4	2	1	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	4	2	1	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	1	2	1	2	6	5	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	4	-	8	66	4	-	5	2	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	6	-	1	15	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3	8	-	-	31	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	21	-	10	12	1	-	1	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	1	-	1	4	24	4	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	26	4	16	52	7	-	9	2	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
伏見	2	33	3	19	63	4	3	4	2	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	3	4	7	50	1	-	2	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	7	107	15	68	328	32	3	29	12	-	-	27	-	9	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	1.00	0.50	0.25	1.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	1.00	0.50	0.25	1.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	0.20	0.67	0.33	0.67	2.00	1.67	-	1.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	1.00	-	2.00	16.50	1.00	-	1.25	0.50	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	2.00	-	0.33	5.00	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.00	4.00	-	-	15.50	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	5.25	-	2.50	3.00	0.25	-	0.25	-	-	-	0.50	-	6.00	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1.00	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	0.20	-	0.33	1.33	8.00	1.33	-	0.67	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	5.20	0.80	3.20	10.40	1.40	-	1.80	0.40	-	-	0.40	-	3.00	-	-	-	-	-	-
伏見	0.18	4.71	0.43	2.71	9.00	0.57	0.43	0.57	0.29	-	-	1.71	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	0.75	1.00	1.75	12.50	0.25	-	0.50	0.75	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.10	2.61	0.37	1.66	8.00	0.78	0.07	0.71	0.29	-	-	0.66	-	0.90	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第49週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年11月30日～平成27年12月6日

データ入手日:平成27年12月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	1	2	1	-
RSウイルス感染症	年齢1	107	14	15	39	21	15	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	15	-	1	5	-	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	68	-	-	1	5	8	5	9	7	6	7	7	9	-	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	328	4	19	63	25	35	30	23	19	10	20	13	23	11	33	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	32	-	1	4	5	5	7	2	2	3	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	29	-	-	1	-	3	1	4	2	5	5	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	12	-	4	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	27	-	-	-	1	2	2	4	3	1	3	4	5	1	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	9	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	2	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	0.01	-	-	0.01	-	0.01	0.03	0.01	-
RSウイルス感染症	年齢1	2.61	0.34	0.37	0.95	0.51	0.37	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.37	-	0.02	0.12	-	0.10	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	1.66	-	-	0.02	0.12	0.20	0.12	0.22	0.17	0.15	0.17	0.17	0.22	-	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	8.00	0.10	0.46	1.54	0.61	0.85	0.73	0.56	0.46	0.24	0.49	0.32	0.56	0.27	0.80	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.78	-	0.02	0.10	0.12	0.12	0.17	0.05	0.05	0.07	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.07	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.71	-	-	0.02	-	0.07	0.02	0.10	0.05	0.12	0.12	0.17	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.29	-	0.10	0.17	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.66	-	-	-	0.02	0.05	0.05	0.10	0.07	0.02	0.07	0.10	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.90	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-	0.10	-	0.30	-	0.10	-	0.20	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第49週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年12月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1	6	7	10	6	7
RSウイルス感染症	29	38	51	82	98	107
咽頭結膜熱	14	8	14	8	7	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	68	65	62	56	68
感染性胃腸炎	327	316	371	379	239	328
水痘	9	5	16	22	29	32
手足口病	2	-	2	2	2	3
伝染性紅斑	17	15	23	28	26	29
突発性発しん	15	18	17	16	7	12
百日咳	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	2	1	-
流行性耳下腺炎	10	18	19	16	24	27
急性出血性結膜炎	-	-	2	-	-	-
流行性角結膜炎	4	6	2	8	4	9
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	490	498	589	635	499	637

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.01	0.09	0.10	0.15	0.09	0.10
RSウイルス感染症	0.71	0.93	1.24	2.00	2.39	2.61
咽頭結膜熱	0.34	0.20	0.34	0.20	0.17	0.37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.49	1.66	1.59	1.51	1.37	1.66
感染性胃腸炎	7.98	7.71	9.05	9.24	5.83	8.00
水痘	0.22	0.12	0.39	0.54	0.71	0.78
手足口病	0.05	-	0.05	0.05	0.05	0.07
伝染性紅斑	0.41	0.37	0.56	0.68	0.63	0.71
突発性発しん	0.37	0.44	0.41	0.39	0.17	0.29
百日咳	0.02	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	0.05	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.24	0.44	0.46	0.39	0.59	0.66
急性出血性結膜炎	-	-	0.20	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.60	0.20	0.80	0.40	0.90
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.24	12.54	14.60	16.00	12.42	16.15

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。